



広報

人口 32,562人
世帯数 11,530世帯
(3月1日現在)

いながわ

第791号

平成21年(2009年) 4月1日

毎月1日・15日発行

編集・発行
猪名川町総務課

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 072 (766) 0001 (代表) ファックス番号 072 (766) 3732

真田町長が平成21年度施政方針を表明

就任以来、住民の皆様との対話を重視しながら、豊かな自然環境、受け継がれてきた文化・歴史遺産、活発な地域活動など、本町の特徴を生かした「いつまでも住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを進めてきました。

社会不安の高まり、目まぐるしく変化する社会・経済情勢の困難を乗り切るため、ゆるぎない姿勢で、安定した自治体経営を続けていくことが重要であるとの認識を強くしています。今後とも行政改革の積極的な推進に引き続き取り組むとともに、各事業の費用対効果や必要性などを多面的に精査し、さらなる行政コストの削減に努める中で、限られた財源を効率的、効果的に活用しながら新たな施策を展開していきます。

近年、「共生」という言葉がよく用いられます。本町には「自然との共生」が実感できる豊かで素晴らしい環境があります。自然に親しみ、自然を慈し



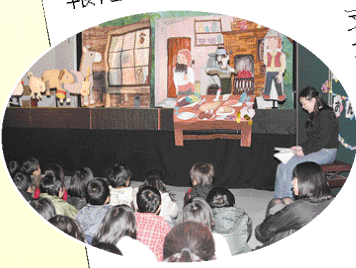
2月26日に開会した第343回町議会定例会において、真田町長は、町政全般にわたる平成21年度施政方針を表明しました。これは、新年度に行う施策や事業に対する町の考えを示したものです。この施政方針の概要をお知らせします。全文は町ホームページに掲載、また、役場総合案内窓口に設置しています。

いつまでも住み続けたいと
思える魅力あるまちづくりを

教育

文化のまちづくり

情報教育推進環境整備事業の一環として、全小・中学校に校内LANを整備し、インターネットを効果的に授業で活用し、児童・生徒の学力向上を図ります。これにあわせ、教職員用パソコンの整備を行い、学校の情報化、教育の情報化を推進します。



▲図書ボランティアによる人形劇を楽しむ子ども達

また、学校支援地域本部事業では、学校支援ボランティアを通じて地域の協力を得て、教育力の向上をめざします。

健康

福祉のまちづくり

24時間体制で健康・医療に関する電話相談が無料でできる「いながわ健康・医療相談ほっとライン24」を開設します。

また、妊婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産ができるよう、新年度から妊婦健診の助成を大幅に拡充します。

集団検診や個別検診の充実を図るとともに、地域健康づくり支援員による地域に根ざした生活習慣病予防の推進を図りながら第2期生の養成に努めます。

都市環境

を築くまちづくり

昨年に引き続き、鎌倉1号線など狭い道路の拡幅に取り組むとともに、生活道路の適正な維持管理を図ります。

また、本町の魅力のひとつである多様な公園については、地域との協働による花づくりなどアドプト制度の推進により、人が集い、ふれあいのある公園づくりをめざします。

まちづくり

の実現に向けて

未整備となっている町域全体における光ファイバ網の敷設にむけて事業支援を行い、町域内の情報格差を解消するとともに、デジタル放送に対する難視聴対策およびその情報基盤を活用した地域情報化を推進します。

また、町ホームページに運営管理支援システムを導入し機能拡充を図り、情報の質、量を高め、正確かつ迅速な情報発信を行います。

安全

で快適なまちづくり

救急アドバイザー制度の創設により、救急に精通した人材を育成し、地域を巡回するミニ救急車を活用しながら、救急の知識や応急手当などの出前講習を実施します。

防犯対策については、地域でお互いが声を掛け合う「い〜な〜スマイルあいさつ運動」をより広く展開し、地域力を高めていきます。また、地域まちづくり協議会を地域の核として、各地域がかかえるさまざまな課題に対応していくため、これまでの地域担当職員制度に加え、拠点施設支援の整備などを地域とともに進めます。

産業

のまちづくり

森林活動の場として阿古谷小学校区内に地域ふさと森林整備事業を導入し、体験学習の場として整備します。また、島地区においては、人と野生動物との棲みわけを行うバッファゾーンを設ける野生動物育成林整備事業を実施します。

観光施策として、野菜や果実などのもぎ取り農園や大野山での星空観察などの体験型観光を活用し、観光・体験ツアーの実施に向け進めていきます。

また、経済情勢に対応するため、中小企業への支援や、雇用・就業機会の創出や支援の検討をすみやかに進めます。



▲整備された里山で体験学習